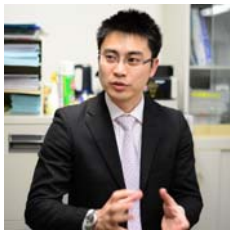


# URAの仕事と求められる能力の多様性

文部科学省 科学技術・学術政策研究所  
第2調査研究グループ 上席研究官  
荒木 寛幸

## 自己紹介



荒木 寛幸

- 2008年 熊本大学 知的財産創世推進本部 知的財産推進員  
熊本大学 イノベーション推進機構 知的財産マネージャー
- 2010年 熊本大学 マーケティング推進部 知的財産マネージャー
- 2012年 熊本大学 マーケティング推進部 総括研究コーディネーター (URA)
- 2013年 徳島大学 四国産学官連携イノベーション共同推進機構 特任准教授
- 2014年 徳島大学 産学官連携推進部 特任准教授
- 2015年 徳島大学 研究支援・産官学連携センター URA部門長  
RA協議会 代議員  
徳島大学 研究支援・産官学連携センター 准教授
- 2016年 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第2調査研究グループ 上席研究官

本報告書では、第5期科学技術基本計画がスタートしたことを踏まえ、地域イノベーションと地方創生についての実態・意識を調査し、現状と課題を明らかにすることを目的とした質問票調査を、都道府県、政令指定都市、地方銀行、公設試験研究機関を対象として実施しました。

その結果、地域イノベーションに対する取組の成果の認識において成果が出ていると認識している機関が5割を超えていること、地域内での関係者との連携状況については、6割を超える機関が連携できていると認識していること、コーディネーションを担う人材については6割を超える機関で人材不足との認識があること、なかでも、将来の地域産業のビジョンを語り、関係者を巻き込んでいくことのできる人材が不足しているとの認識があることなどが明らかとなりました。

<http://doi.org/10.15108/rm260>

## 0) 支援職の背景 科学技術基本計画について

### 科学技術基本計画

平成27年度版科学技術白書より

	第1期科学技術基本計画 産学官の人的交流等の促進					第2期科学技術基本計画 技術移転のための 仕組みの改革					第3期科学技術基本計画 産学官連携(イノベーション)創出のための 重要な手段					第4期科学技術基本計画				
	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究者の任期制の導入</li> <li>ポストク等1万人計画</li> <li>競争的資金の拡充</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術の戦略的重点化</li> <li>競争的資金の倍増と間接経費（30%）の導入</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術の戦略的重点化</li> <li>競争的資金の拡充、競争的資金への間接経費30%の徹底</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>重要課題の解決に向けた研究開発の推進</li> <li>科学技術イノベーション政策の一体的展開</li> <li>社会とともに創り進める科学技術</li> </ul>				
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立試験研究機関に任期付任用制を導入</li> <li>ポストク等1万人計画</li> <li>産学官連携のための環境整備、人的交流の促進</li> <li>競争的研究資金の大幅な拡充など多元的研究資金を拡充</li> <li>研究開発評価を実施、評価に関する大綱的指針を策定</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術の戦略的重点化 → ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテク、材料を重点4分野に</li> <li>若手育成型任期制の改善（任期を原則3年から原則5年に延長）</li> <li>多様なキャリアパスの開拓、優れた外国人研究者の活躍機会の拡大、女性研究者の環境改善</li> <li>公的研究機関が保有する特許等の機関管理の促進</li> <li>競争的資金の倍増と間接経費（30%）の導入</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術の戦略的重点化 → 重点推進分野4分野（ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテク・材料）</li> <li>→ 推進4分野（エネルギー、ものづくり技術、社会基盤、フロンティア）</li> <li>→ 戦略重点科学技術の選定及び国家基幹技術の精選</li> <li>若手研究者の自立支援、自校出身者比率の抑制、女性研究者採用の目標25%</li> <li>世界トップクラスの研究拠点を30程度形成など大学の競争力強化</li> <li>全ての競争的資金において間接経費（30%）措置を徹底</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>持続的な成長と社会の実現 → 震災からの復興・再生</li> <li>→ グリーンイノベーションやライフイノベーションの推進等</li> <li>重要課題への対応</li> <li>→ 安全かつ豊かで質の高い国民生活の実現</li> <li>→ 産業競争力の強化</li> <li>→ 地球規模の問題解決への貢献</li> <li>→ 国家在立の基盤の保持</li> <li>→ 共通基盤の充実・強化</li> <li>→ 社会とともに創り進める政策の展開</li> <li>→ 政策家企画・推進への国民の参画</li> <li>→ 研究開発法人改革（新制度創設）</li> <li>→ PDCAサイクルの確立やアクションプラン等の改革の徹底等</li> </ul>				
投資目標	科学技術関係経費の総額規模約17兆円（実質17.6兆円）（21世紀初頭に対GDP比で欧州主要国並に引き上げ）					政府研究開発投資（※第2期以降は地方公共団体を含む）の総額規模約24兆円（実質21.1兆円）（計画期間中の対GDP比1%、GDP名目成長率3.5%を前提）					政府研究開発投資の総額規模約25兆円（実質21.7兆円）（計画期間中の対GDP比1%、GDP名目成長率3.1%を前提）					政府研究開発投資の総額規模約25兆円（計画期間中の対GDP比1%、GDP名目成長率2.8%を前提）				

## 第5期科学技術基本計画について

### ● 基本方針

- 「先を見通し戦略的に手を打つ力」、「変化に的確に対応する力」を重視
- 国際的に開かれたイノベーションシステムの中で競争、協調し、各主体の力を最大限発揮できる仕組みを構築
- 政府、学会、産業界、国民が共に実行する計画として位置付け

### ● 政策の柱

- 1) 未来の産業創造と社会変革
  - 世界に先駆けた「超スマート社会」実現 等
- 2) 経済・社会的な課題への対応
- 3) 基盤的な力の強化
  - 若手活躍、学術・基礎研究推進、大学改革 等
- 4) 人材、知、資金の好循環システム
  - オープンイノベーション推進、ベンチャー創出 等

## 産学官連携施策の経過

H25.7.23 科学技術審議会 産業連携・地域支援部会 イノベーション創出機能強化作業部会（第2回）  
資料2「産学官連携コーディネーター、リサーチアドミニストレーターのごこれまでの取組と現状について」より

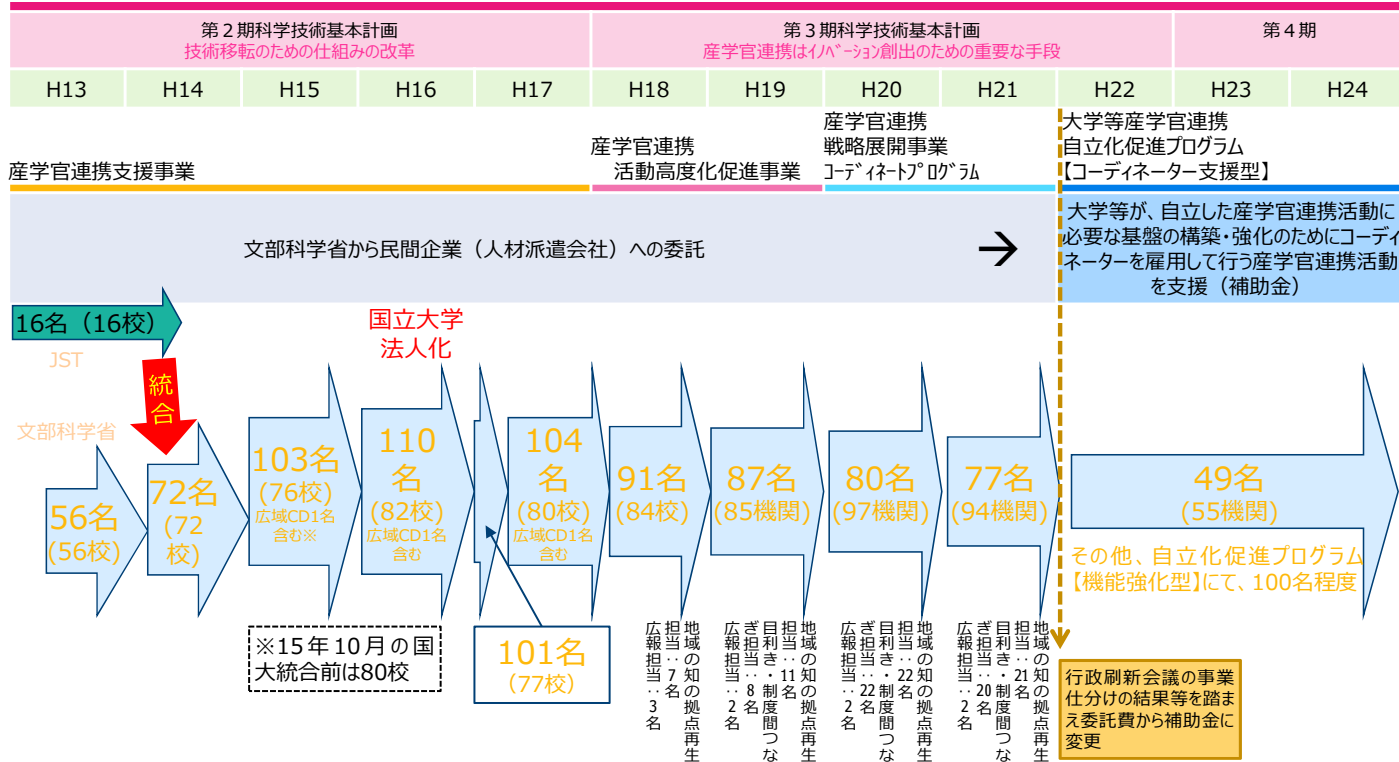
### 科学技術基本計画

第1期科学技術基本計画 産学官の人的交流等の促進						第2期科学技術基本計画 技術移転のための仕組みの改革					第3期科学技術基本計画 産学官連携はイノベーション創出のための重要な手段				第4期			
H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
地域への支援施策																		
知的クラスター創成事業 I期												II期		地域イノベーション 戦略支援プログラム等				
大学への支援策																		
大学知的財産本部整備事業										産学官連携 戦略展開事業		大学等産学官連携 自立化促進プログラム						
H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
<b>科学技術基本法</b>	大学の教員等の任期に関する法律等	<b>大学等技術移転促進法</b>	産業活力再生特別措置法			中央省庁再編	第一回産学官連携推進会議（京都）	<b>知的財産基本法</b>	<b>国立大学法人化</b>		<b>教育基本法改正</b>	イノベーション25	科学技術による地域活性化戦略	<b>研究開発力強化法</b>	行政刷新会議事業仕分け第1弾	行政刷新会議事業仕分け第3弾		日本再興戦略

# 0) 支援職の背景 産学官連携コーディネーター支援の経緯

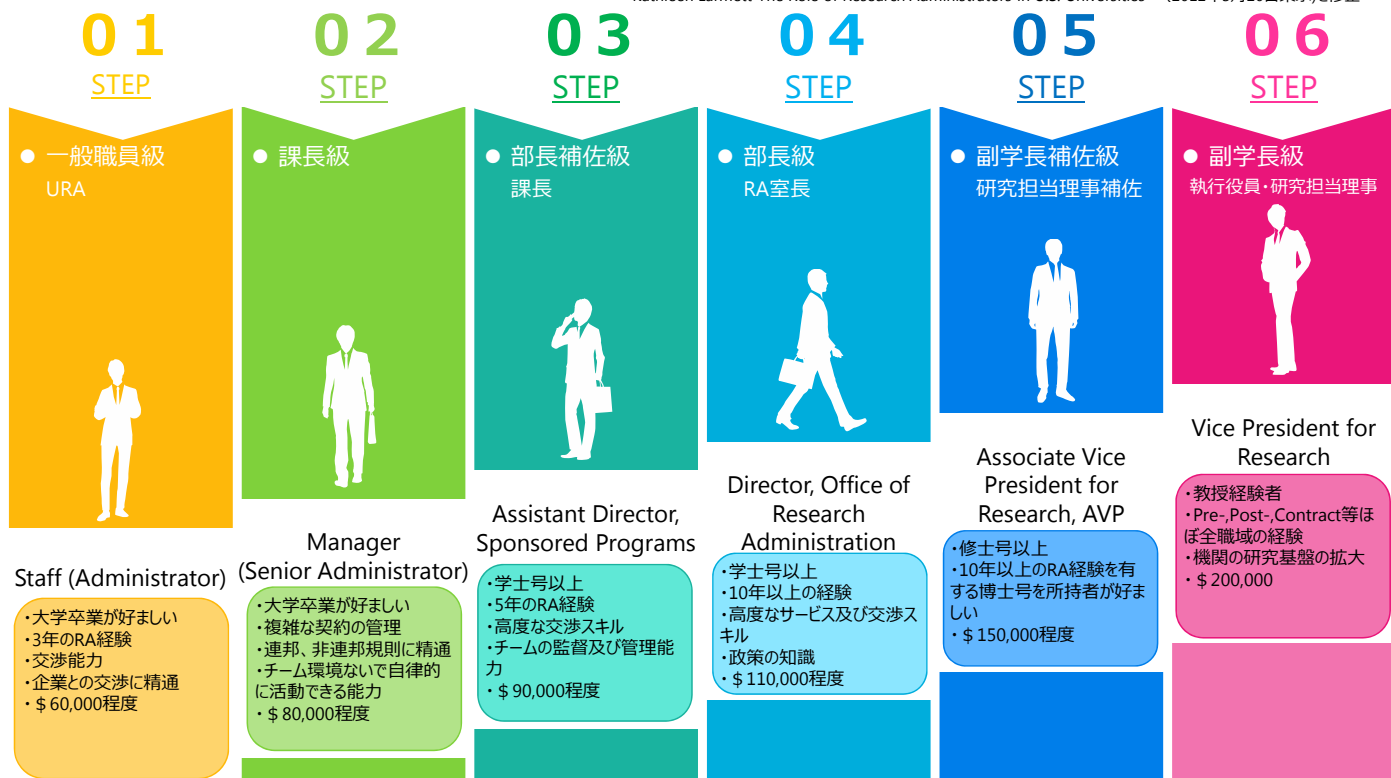
## 科学技術基本計画

H25.7.23 科学技術審議会 産業連携・地域支援部会 インノベーション創出機能強化作業部会（第2回）  
資料2「産学官連携コーディネーター、リサーチアドミニストレーターのこれまでの取組と現状について」より



# 1) 研究推進支援の専門人材について 米国におけるRA人材のキャリア・ラダー

Kathleen Larnett "The Role of Research Administrators in U.S. Universities" (2012年3月20日東京)を修正



1) 研究推進支援の専門人材について  
URAのスキル標準

URA

初 級

中 級

上 級

業務上の課題の発見と解決を  
**補助的**に行う（補佐）

経験年数：1～3年

平成 25 年度「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」（研修・教育プログラムの作成）より

9

1) 研究推進支援の専門人材について  
URAのスキル標準

URA

初 級

中 級

上 級

業務上の課題の発見と解決を  
**自律的**に行う（執行）

経験年数：3～5年

平成 25 年度「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」（研修・教育プログラムの作成）より

10

1) 研究推進支援の専門人材について  
URAのスキル標準

URA

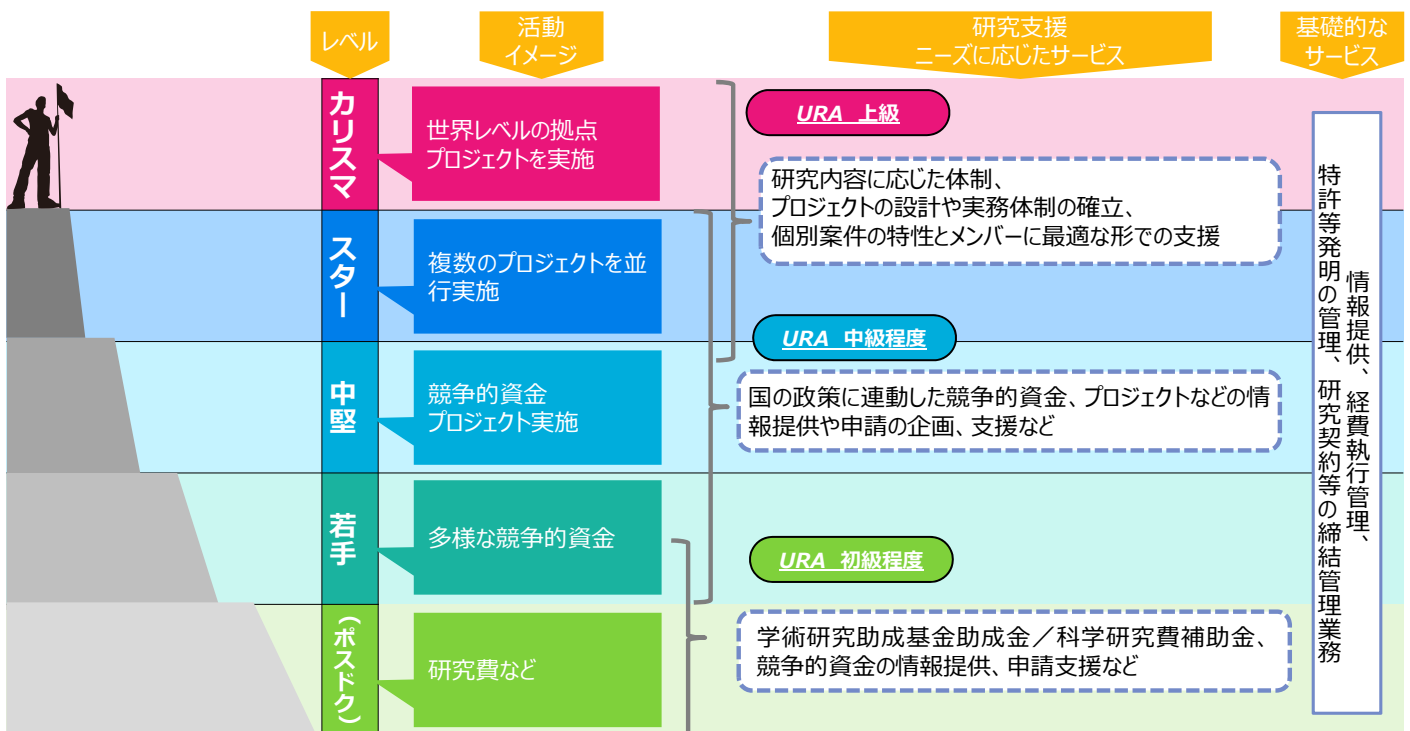
初級      中級      上級

業務上の課題の発見と解決を  
主導的に行う（統括）

経験年数：5年～

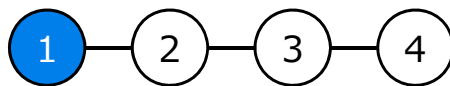
平成 25 年度「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」（研修・教育プログラムの作成）より

1) 研究推進支援の専門人材について  
研究者レベル別に見る研究支援の活動について



平成 25 年度「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」（研修・教育プログラムの作成）を基に修正

## 2) 研究に必要な研究支援機能 リサーチアドミニストレーターの業務内容



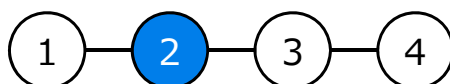
### 研究戦略支援業務

1. 政策情報等の調査分析
2. 研究力の調査分析
3. 研究戦略策定

リサーチ・アドミニストレーター（URA）を育成・確保するシステムの整備「スキル標準」より

13

## 2) 研究に必要な研究支援機能 リサーチアドミニストレーターの業務内容



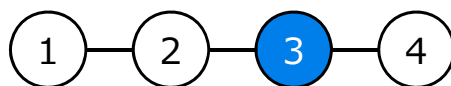
### プレ・アワード業務

1. 研究プロジェクト企画・立案支援
2. 外部資金情報収集
3. 研究プロジェクト企画のための内部折衝活動
4. 研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整
5. 申請書作成支援

リサーチ・アドミニストレーター（URA）を育成・確保するシステムの整備「スキル標準」より

14

## 2) 研究に必要な研究支援機能 リサーチアドミニストレーターの業務内容

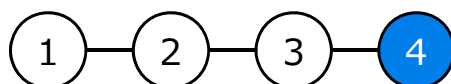


### ポスト・アワード業務

1. 研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整
2. プロジェクトの進捗管理
3. プロジェクトの予算管理
4. プロジェクトの評価対応関連業務
5. 報告書作成業務

リサーチ・アドミニストレーター（URA）を育成・確保するシステムの整備「スキル標準」より

## 2) 研究に必要な研究支援機能 リサーチアドミニストレーターの業務内容



### 関連専門業務

1. 教育プロジェクト支援業務
2. 国際連携支援業務
3. 産学連携支援業務
4. 知財関連業務
5. 研究機関としての発進力強化・推進
6. 研究広報関連業務
7. イベント開催関連業務
8. 安全管理関連業務
9. 倫理・コンプライアンス関連業務

リサーチ・アドミニストレーター（URA）を育成・確保するシステムの整備「スキル標準」より



## 2) 研究に必要な研究支援機能 URA関連組織の担当業務範囲のモデル

### 【初級URA型】

担当/スキル	初級	中級	上級
研究戦略支援	■		
プレ・アワード	■		
ポスト・アワード	■		
関連専門業務			

### 【専門特化型】

担当/スキル	初級	中級	上級
研究戦略支援			
プレ・アワード			
ポスト・アワード			
関連専門業務	■	■	■

### 【研究戦略・プレアワード特化型】

担当/スキル	初級	中級	上級
研究戦略支援	■	■	■
プレ・アワード	■	■	■
ポスト・アワード			
関連専門業務			

- ① 大学の特性によってURAの業務特性の割り当ては異なる
- ② 初級URAの必要スキルには一般事務能力に必要なスキルとの重複がある
- ③ 産学連携・知財管理業務等の機能は、URA機能の専門特化型に相当する

リサーチ・アドミニストレーター（URA）を育成・確保するシステムの整備「スキル標準」より

## 2) 研究に必要な研究支援機能 URA関連組織の担当業務範囲のモデル

大学ではオールラウンド型のURAを望む声が多い

### 【オールラウンド型】

担当/スキル	初級	中級	上級
研究戦略支援	■	■	■
プレ・アワード	■	■	■
ポスト・アワード	■	■	■
関連専門業務	■	■	■

リサーチ・アドミニストレーター（URA）を育成・確保するシステムの整備「スキル標準」より

### 3) これからの研究推進支援の専門人材について URAスキル標準の細分化

	研究戦略支援業務			プレ・アワード業務					ポスト・アワード業務					関連専門業務							
	政策情報等の調査分析	研究力の調査分析	研究戦略策定	研究プロジェクト企画・立案支援	外部資金情報収集	研究プロジェクト企画のための 内部折衝活動	研究プロジェクト実施のための 対外折衝・調整	申請書作成支援	研究プロジェクト実施のための 対外折衝・調整	プロジェクトの進捗管理	プロジェクトの予算管理	プロジェクトの評価対応関連業務	報告書作成業務	教育プロジェクト支援業務	国際連携支援業務	産学連携支援業務	知財関連業務	研究機関としての発進力強化・推進	研究広報関連業務	イベント開催関連業務	安全管理関連業務
研究者支援	○	○		◎	◎		◎		◎		○	◎			○	○			○	○	○
大学運営支援	◎	○	◎			◎	◎		◎					◎			◎				
産学連携支援	○	○		◎	○	○	◎	○	◎	◎				○	◎	◎			○	○	○
研究分析	◎	◎																○			
法務系・知財関連特化型															○	○	◎				
法務系・国際支援特化型															◎	○	○				
法務系・倫理等支援特化型															○					◎	◎
広報支援タイプ		○																○	◎	◎	

### 3) これからの研究推進支援の専門人材について タイプ別に見るURA

	研究戦略支援業務			プレ・アワード業務					ポスト・アワード業務					関連専門業務										
	政策情報等の調査分析	研究力の調査分析	研究戦略策定	研究プロジェクト企画・立案支援	外部資金情報収集	研究プロジェクト企画のための 内部折衝活動	研究プロジェクト実施のための 対外折衝・調整	申請書作成支援	研究プロジェクト実施のための 対外折衝・調整	プロジェクトの進捗管理	プロジェクトの予算管理	プロジェクトの評価対応関連業務	報告書作成業務	教育プロジェクト支援業務	国際連携支援業務	産学連携支援業務	知財関連業務	研究機関としての発進力強化・推進	研究広報関連業務	イベント開催関連業務	安全管理関連業務	倫理・コンプライアンス関連業務		
研究者支援	○	○		◎	◎		◎		◎		○	◎			○	○			○	○	○			
大学運営支援	◎	○	◎			◎	◎		◎					◎			◎							
産学連携支援	○	○		◎	○	○	◎	○	◎	◎				○	◎	◎			○	○	○			
研究分析	◎	◎																○						
法務系・知財関連特化型															○	○	◎							
法務系・国際支援特化型															◎	○	○							
法務系・倫理等支援特化型															○					◎	◎			
広報支援タイプ		○																○	◎	◎				
	【初級URA型】			【研究戦略・プレアワード特化型】																				
	担当/スキル	初級	中級	上級	担当/スキル	初級	中級	上級	担当/スキル	初級	中級	上級	担当/スキル	初級	中級	上級	担当/スキル	初級	中級	上級	担当/スキル	初級	中級	上級
研究戦略支援					研究戦略支援												◎	○	○					
プレ・アワード					プレ・アワード											○					◎	◎		
ポスト・アワード					ポスト・アワード													○	◎	◎				
関連専門業務					関連専門業務																			

### 3) これからの研究推進支援の専門人材について タイプ別に見るURA

	研究戦略支援業務				プレ・アワード業務				ポスト・アワード業務				関連専門業務									
	政策情報	研究力の調査分析	研究戦略	研究プロジェクト	外部資金情報収集	研究プロジェクト企画のための内部折衝活動	研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整	申請書作成支援	研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整	プロジェクトの進捗管理	プロジェクトの予算管理	プロジェクトの評価対応関連業務	報告書作成業務	教育プロジェクト支援業務	国際連携支援業務	産学連携支援業務	知財関連業務	研究機関としての発進力強化・推進	研究広報関連業務	イベント開催関連業務	安全管理関連業務	倫理・コンプライアンス関連業務
	<b>【専門特化型】</b>																					
	担当/スキル	初級	中級	上級																		
	研究戦略支援																					
	プレ・アワード																					
	ポスト・アワード																					
	関連専門業務																					
研究者支援	○	○		◎	◎			◎	◎		○	◎			○	○			○	○	○	
大学運営支援	◎	○	◎			◎	◎		◎					◎	○		◎					
産学連携支援	○	○		◎	○	○	◎	○	◎	◎		○		○	◎	◎			○	○	○	
研究分析	◎	◎																○				
法務系・知財関連特化型															○	○	◎					
法務系・国際支援特化型															◎	○	○					
法務系・倫理等支援特化型															○						◎	◎
広報支援タイプ		○																○	◎	◎		

### 3) これからの研究推進支援の専門人材について タイプ別に見るURA

	研究戦略支援業務				プレ・アワード業務				ポスト・アワード業務				関連専門業務									
	政策情報	研究力の調査分析	研究戦略	研究プロジェクト	外部資金情報収集	研究プロジェクト企画・立案支援	研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整	申請書作成支援	研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整	プロジェクトの進捗管理	プロジェクトの予算管理	プロジェクトの評価対応関連業務	報告書作成業務	教育プロジェクト支援業務	国際連携支援業務	産学連携支援業務	知財関連業務	研究機関としての発進力強化・推進	研究広報関連業務	イベント開催関連業務	安全管理関連業務	倫理・コンプライアンス関連業務
	事務職員の高度化																					
研究者支援	○	○		◎	◎			◎	◎		○	◎			○	○			○	○	○	
大学運営支援	◎	○	◎			◎	◎		◎					◎	○		◎					
産学連携支援	○	○		◎	○	○	◎	○	◎	◎		○		○	◎	◎			○	○	○	
研究分析	◎	◎																○				
法務系・知財関連特化型															○	○	◎					
法務系・国際支援特化型															◎	○	○					
法務系・倫理等支援特化型															○						◎	◎
広報支援タイプ		○																○	◎	◎		

## 参考

- 平成27年度版科学技術白書：文部科学省
  - [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/html/hpaa201501/1352442.html](http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpaa201501/1352442.html)
- 第5期科学技術基本計画について：文部科学省
  - [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kagaku/kihon/main5\\_a4.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/kihon/main5_a4.htm)
- H25.7.23 科学技術審議会 産業連携・地域支援部会 イノベーション創出機能強化作業部会（第2回）  
資料2 産学官連携コーディネーター、リサーチ・アドミニストレーターのこれまでの取組と現状について
  - [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu16/005/shiryo/\\_icsFiles/afieldfile/2013/08/08/1338341\\_2\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu16/005/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2013/08/08/1338341_2_1.pdf)
- H24.7.27 科学技術・学術審議会産業連携・地域支援部会 産学官連携推進委員会（第11回）  
資料2 日本におけるURAの機能と位置づけにかかる現状把握と提案
  - [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu16/001/shiryo/\\_icsFiles/afieldfile/2012/08/17/1324651\\_2.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu16/001/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2012/08/17/1324651_2.pdf)
- 平成 25 年度「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」（研修・教育プログラムの作成）
  - [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/jinzai/ura/detail/1349660.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/ura/detail/1349660.htm)
- リサーチ・アドミニストレーター（URA）を育成・確保するシステムの整備
  - [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/jinzai/ura/detail/1349663.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/ura/detail/1349663.htm)

ありがとうございました

